

ホソカワ/アルピネ 卓上型ファインインパクトミル 100UPZ-c Hosokawa/Alpine Fine Impact Mill Compact

<概要>

ファインインパクトミル UPZ は粉砕デバイスの組み合わせで幅広く活用できる微粉砕機です。特に医薬業界では、分解性や軸封構造が評価され、多くの納入事例があります。このたび、製剤試験用にドラフトチャンバにも収まる大きさの卓上型100UPZ-cを開発しました。写真1にその外観を示します。

<特長>

- モータをロータ直結にする事で、大きさは350W×564D×485H となり、ドラフトチャンバや安全キャビネット内にも入る卓上型サイズに設計されています。
- 少量（10g～100g）用のバッチ運転専用機です。初期検討用の製剤試験機として最適で、運転データは実機設計時に活用できます。
- 高速モータ（18,000rpm）直結型で、ベルトの摩擦粉は皆無です。
- ファインインパクトミル100UPZ と部品は互換性があり、動力も1.5kW で同じです。
- ファインインパクトミル UPZ の特長である GMP 軸封構造を踏襲しています。
- 粉砕ロータは削り出しによるモノブロック品でピンホールがありません。
- 本体と分離してコントローラを別置にできます。

<構造>

ホッパーから投入された粉体原料は粉砕室中央に導入されます。ロータの遠心力によって外側に分散され、ハンマの衝撃により粉砕されます。回転速度により、粒度を調整するピンミルタイプが標準で、10 μ m まで粉砕可能です。オプションとして粗砕や微粉の発生を抑えるビータディスクハンマとスクリーンの組み合わせがあり、整粒作用が高い全周スクリーン型の他、摩耗に強いスクリーンレスロングライナ型、双方を組み合わせたスクリーン付ショートライナ型などがあります。



図1：100UPZ-c 外観

<連絡先>

ホソカワミクロン（株）
粉体システム事業本部
大阪：〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1-9
TEL 072-855-2221
東京：〒173-0004 東京都板橋区板橋3-9-7
板橋センタービル TEL 03-5248-5700